

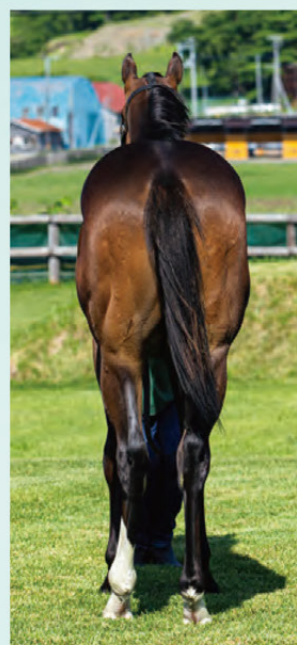
4 ピアレジーナの21年産 牡

父：エピカリス 母の父：タイキシャトル(USA)

2021年3月28日生(鹿毛) 栗東・谷潔厩舎 入厩予定

生産：(有)ビクトリーホースランチ 繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ

全400口 総額1,200万円／一口出資金30,000円／月々の維持費 1,750円／1口



エピカリス 黒鹿毛 2014年	ゴールドアリュール 栗毛 1999年	サンデーサイレンス(USA)
	スターベスミツコ 鹿毛 2002年	ニキヤ(USA)
ピアレジーナ 栗毛 2016年	タイキシャトル(USA) 栗毛 1994年	カーネギー(IRE)
		マーチンミユキ
	アッシュベリー 栗毛 2009年	Devil's Bag(USA)
		ウェルシュマフィン(GB)
		Any Given Saturday(USA)
		アシェラフ(USA)

Halo S4×M4 Northern Dancer S5×M5 Nijinsky S5×M5

Family Line

母 ピアレジーナ

不出走、本馬は初仔

祖母 アッシュベリー

出走

エヴェリーナ：1勝

タイキフェルヴール：5勝 師走S(L)

タイキフォース：2勝、現役

曾祖母 アシェラフ(USA)

米首2勝

4代母 Cinnamon Sugar(USA)

米6勝

ロングルックH(G2)、エイコーンS(G1)2着、

マザーグースS(G1)2着、ガゼルH(G1)2着

5代母 Sugar and Spice(USA)

米5勝

マザーグースS(G1)、アシュランドS(G2)、コティリオンS(G2)

[孫] All Spice(USA)：米4勝 シクステイセイルズH(G3)

[曾孫] Country Flavor(USA)：米10勝 ハンシンC(G3)

Broodmare Sire

母の父 タイキシャトル(USA)

1994年生 栗毛 米国産

【競走成績】

国内：12戦10勝 海外：1戦1勝

ジャックルマロワ賞(G1)、安田記念(G1)、マイルCS(G1)2回、スプリンターズS(G1)

【母の父として】

ストレイトガール：スプリンターズS(G1)

ワンアンドオンリー：日本ダービー(G1)

レーヌミノル：桜花賞(G1)

TRAINER 谷潔 調教師(栗東)

1957年1月11日生 京都府出身

1995年開業 JRA通算372勝

※成績は2022年6月28日現在

【主な管理馬】

ヨカヨカ：北九州記念(G3)

トーホウジャックル：菊花賞(G1)

キングザファクト：ダイヤモンドS(G3)

ヒコーキグモ：きさらぎ賞(G3)

Sire

父 エピカリス

2014年生 黒鹿毛 浦河産

【競走成績】

国内：11戦4勝 海外：1戦0勝

北海道2歳優駿(JPN3)、ヒヤシンスS(L)、

UAEダービー(G2)2着、レパードS(G3)3着

【直近2年の種付頭数】

2020年88頭、2021年50頭

【代表産駒】

データ無し



©株式会社レックス

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

お初にお目にかかりますピアレジーナの1番仔は、鹿毛の男の子。競走馬デビューすることなく母となったピアレジーナは、その走りを見ることができなかったことを未だに後悔するほど、大きなポテンシャルを秘めた馬でした。そのファーストクロップである本馬は母譲りの雄大な体つきで、初仔というだけで選抜肢から外してしまうのはもったいないデキの馬体です。首から肩周りにかけては父エピカリスの特徴が出ており、大きな丸みのある尻は母の美点を引き継いでいます。放牧地では跳びの大きな脚運びで、どこまでも加速していくような力強さを感じる走りを見せていました。性格面は懐こく、人の目を良く見て行動できる利発さも備えています。騎乗に向けて馴致を進めている段階では、全く手の掛からない優等生という印象です。本馬を管理予定の谷潔調教師は「スケールの大きい馬やね!肩も大きいしトモ幅もあるし、パワーがありそうです。ダートの中距離辺りが主戦場になるんじゃないかな。」と評価してくれています。私としても目論見通りの路線で、共通認識を持つことができました。夏場のダートは短距離レースが多いので、必然的にデビューは秋ごろになるでしょうから、じっくりと乗り込んで爪を研いで行くつもりです。